

## 第2期江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について

### 1 改訂理由

平成13年度に国から取得した江別市所有の国の登録有形文化財北海道林木育種場旧庁舎（以下「林木育種場」という。）について、令和3年度に地方創生拠点整備交付金を財源として改修する予定としているが、地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略に交付金を活用する対象施設名を記載することが交付の条件とされているため、第2期江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略に当該改修を踏まえた取組み等を追加する。

### 2 林木育種場の改修内容

別添1「北海道林木育種場旧庁舎改修関係資料」のとおり

#### 【概要】

窓、外壁及び屋根等について登録有形文化財としての外観保存に配慮しながら長寿命化・機能向上に係る改修を行うとともに、内部について1階は企業オフィス施設（本社機能）や商業施設スペースとして、2階は会議室や倉庫スペースとして活用できるよう間仕切り、床及び天井等を模様替えする。

また、林木育種場がオフィス兼商業施設として活用されることにより、来館者の増加が見込まれることから、自動車での来館者向けの駐車場と車路を整備する。

### 3 概算事業費

市負担分 82,500千円（うち交付金41,250千円）

※主に建物本体及び駐車場等の改修

事業者負担分 29,995千円

※主にオフィス・カフェとして活用するための内装改修

### 4 改訂の方向性

林木育種場を含む江別市内の地域資源を有効活用し、企業誘致等を推し進めるとともに、企業誘致の効果を江別市全体に波及させるため、誘致企業と地元企業等による製品開発を推進していくことを記載する。

また、具体性を持った進捗管理を行うため「誘致企業と地元企業等による製品開発数」をKPIとして追加設定する。

### 5 改訂内容

別添2「新旧対照表」及び別添3「第2期江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 改訂（案）」のとおり

### 6 改訂日（予定）

令和3年3月中

## 【参考】これまでの主な経過

- 昭和 2年 内務省林業試験場北海道支場として現在地（文京台緑町561-2）に建設
- 昭和11年 陸軍特別大演習にあたって、昭和天皇が行幸  
☞昭和天皇がご休憩された特別応接室が現存
- 昭和32年 農林省林野庁北海道林木育種場となる
- 平成 7年 国から市へ建物及び敷地の売却打診
- 平成 8年 新庁舎（隣接地）完成に伴い庁舎としての利用終了
- 平成13年 国登録有形文化財に指定  
市が国から建物及び敷地を購入  
☞建物の保存を優先しながら、当面、休憩室・会議室等として利用
- 平成21年 保存・活用する民間事業者を募集（～令和2年）  
☞改修費が高額になることなどから応募なし
- 令和 2年 建物を市が改修したうえで民間事業者に貸与する方針に変更  
新規条件による保存・活用事業者の再募集（10月～12月）  
☞4事業者が応募  
保存・活用に係る優先交渉事業者選定（12月）  
☞株式会社珈房サッポロ珈琲館
- 令和 3年 地方創生拠点整備交付金申請